

九州ルーテル学院 2021 年度第 1 回モニター会議 議事録

下記日程、内容にて 2021 年度第 1 回学院モニター会議が開催された。

1. 日 程 2021 年 8 月 3 1 日 (火) 18 : 00 ~ 19 : 30

大学 2 階 大会議室

2. 学院モニター会議の目的

- ・学院全体について、各界や各立場、年齢層の方々からご自由な意見をいただき、地域社会の動きや学院への期待を察知し、今後の学院の在り方に活かす。
- ・外部からの視点や環境変化を肌で感じ、教職員が一体となってルーテルブランドの構築を目指す。

3. 議 題① 学院創立 100 周年に向けて

－100 周年に向けて委員の皆様からご意見を頂く－

議 題② その他

4. プログラム内容

- | | | |
|---|-------|---------|
| 1 | お祈り | |
| 2 | 議事進行 | 内村院長 |
| 3 | 理事長挨拶 | 福田理事長 |
| 4 | 意見交換等 | |
| 5 | 終 了 | 19 : 30 |

5. 配付資料

(事前配付資料)

テーマ「学院創立 100 周年に向けて」についての過去議事録
(2016 年第 2 回議事録・2018 年第 2 回議事録)

(当日配付資料)

当日レジュメ

九州ルーテル学院大学 大学案内 2022

ルーテル学院中学校 学校案内 2022

ルーテル学院高等学校 学校案内 2022

ルーテル学院高等学校芸術コース 学校案内 2022

幼保連携型認定こども園 ルーテル学院幼稚園 案内 2021

九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園 案内 2022

6. 報告

内田事務局長より、2026 年 10 月に学院創立 100 周年を迎えること、その取り組みの一環として、将来構想整備（グランドデザイン）について報告を行った。報告内容は次のとおり。

- 建物に老朽化がみられる部分があり、建て替えを行うためには建物が密集しているということもあり、ローテーションで建物を新設することを検討中。
- プールやテニスコートを新設すること、交流会館を設けることや、正門入口の道路幅を広げること等も予定している。
- 100 周年という大きな節目であるので、ハード面だけではなく、イベント等多様なソフト面も検討し実行していく。
- 募金委員会、事業委員会、行事委員会等を立ち上げて、2021 年～2026 年にプロジェクトの準備を行う方針。他にも名刺に 2026 年には学院 100 周年を迎えますとの文言を入れている。

7. 意見交換

学外委員からのご意見

・熊本市のリーフレット「くまもと黎明期の女たち」では、九州ルーテル学院（九州女学院）創立者エカード先生を取り上げている。熊本市男女共同参画センターはあもにい会館でも、エカード先生の展示を行っている。創立者について、さらに学外に向けて発信した方がよいのではないか。例えば、創立者についての講演を行うことや、TKUの「熊本偉人シリーズ」のような広報活動を行うと、広く様々な方に知っていただけるのではないかと。

・SNSを使うことは一番広がりがあるが若い方に届くのではないかと。プロジェクトメンバーに若い世代の卒業生を含め、活動すると良いのではないかと。ハード面だけではなく、コロナ禍によって就学困難な学生もいるはず。100周年記念の奨学金の仕組みを作って、毎年優秀な学生・生徒に奨学金を利用してもらうなど学生自身に還元できる仕組みを作ると、募金が集まるのではないかと。

・100周年事業の一つ将来構想整備計画（グランドデザイン）を行うにあたってどのくらいの費用が掛かるか。100周年記念事業については、募金活動が必要になる。

・中身を変えるよりも、見た目が変わることのほうが変化が分かりやすい。さらに進化していくためにどのようなことが必要かを考えることが重要である。

・学校という機関は、集うこどもたちのためでもあり、同時に社会的な資源である。その観点から学校だから出来る、社会に対しての働きかけを行うことが大事なのではないかと。学校だからこぞできるアクションを起こすことが大事である。

・若手の卒業生は「九州ルーテル学院」と呼び、前身の九州女学院出身者は「九州女学院」と呼ぶ。母校の表現の仕方が違うことに対しては、今が「九州ルーテル学院」だとしても「九州女学院」という名前を消そうとしなくても良いのではないかと。母校の呼び方は異なっても、例えば、人の往来がある熊本駅などに、「九州女学院」と「九州ルーテル学院」という名前が入った看板やポスターがあると「九州女学院」と「九州ルーテル学院」は一つであることが分かる。エカード先生の言葉や聖書の言葉が書いてあっても良いのではないかと。

・実際に学院創立100周年がいつであるかを卒業生はあまり知らない現状がある。100周年を迎えるまであと5年しかない、というのを周知する必要があるのではないかと。

・ルーテルの象徴的なイベントである、クリスマス礼拝と点灯式でプロジェクションマッピング（建物に映像を映すもの）を行うのはどうか。今年のクリスマスの際にプロジェクションマッピングの様子をHPで映像を流すとともに、「九州ルーテル学院は創立100周年で、募金活動もを行います」と告知できる。

・卒業生にルーテルへの思い入れがあることを日ごろ感じるのでも、特に思い入れのある卒業生に声かけを行い、一緒にプロジェクトに参加してもらうことが大事。

・多様な世代の卒業生は九州ルーテル学院がもっと良くなることを期待している。

過去にホームカミングデーで学内散策ツアーをしていたが、学生時代も見えていなかった場所の発見があるので、少しは学院内の建物を残してほしい。

・グランドデザイン（将来構想整備計画）の将来設計図を保護者目線で見ると、子どもが成長していく過程と絡めて、未来の新しい学校像が可視化されて心が躍る。校舎が新しくなり、勉強する環境も整ってくることはこどもの学校選びの材料として保護者にとっては大きなメリットとして感じることができる。

・HPを見ないとサマースクール等の募集があることを知らないことがあり、イベントなどの周知にさらに工夫が必要。

学内者からの意見

・こども園には、卒園したこどもたちがよく成人式や卒業式に報告に来てくれる。そのようなことは他の子ども園と比べて稀であるため、思い入れのあるこどもたちに対して100周年を迎えることを周知したい。

・学院としての歴史資料室が整備されていない現状がある。モニター委員から学院の創立者や歴史について100周年を機に学内だけでなく地域も伝えていってはどうかというご意見を伺い、深く賛同した。

・「学院が一つ」ということを達成できていない現状がある。100周年を機に学院を本当の意味で一つにしたい。

・100周年の歴史を持っている中高と、まだ創立20周年である大学との意識の差がある。同窓会とも提携出来たらよい。

・創立者のエカード先生の最後の授業を受けた。

・「九州女学院の卒業生です」という声はよく聞かれるが、「九州ルーテル学院の卒業生です」と公言している声はあまり聞かない。九州ルーテル学院が表立って出てくることを期待している。

・雨漏りや壁がはがれ落ちることがあるので、ランドデザインについては可能な部分から少しずつ進めていきたい。将来へのわくわく感が大事であると思う。

・社会に対して発信していくことが大事なのではないか。不可能だと思えることを出来ると信じ、夢を信じて実現しようということが大事。創立者のエカード先生がどのような学校にしようかと考えていたのか、今一度見つめ直す必要がある。中高では、中米・アフリカと中継を結んで授業を行うなどいろいろな形の活動を行っている。

・九州ルーテル学院の歴史や思い出は大事にしたいが、建物が密集していて、象徴的な部分しか残せないのが現状。

・しかし、ハードよりソフト面が大事。卒業した人が今九州ルーテル学院をどのように思っているか、現役の人がどう思っているかが気になる。卒業生・現役の園児・生徒・学生が100周年では、主役なのではないか。

・他の委員の意見を伺うと、100周年に向けては、広報が一番重要ということが分かった。どのような広報を行うか検討中。

・資料室がないという意見があったが、ランドデザイン（将来構想整備計画）では、現在の中高の建物を資料室にするつもりである。

以上